

第2回「多様な正社員」制度導入支援セミナー

短時間勤務や勤務地
限定など、そもそも「多
様な正社員制度」って
どんなもの？



「多様な正社員」等多
様な働き方を導入する
には、何から考え始め
たらいい？



導入検討における、気
を付けるべきポイントや
有効な工夫を知りたい

勤務地や勤務時間などに制限があっても、優秀な人材が活躍し続けるために、
「多様な正社員」制度等、多様な働き方を整える必要性が高まっています。

本セミナーでは、「多様な正社員」制度の導入支援実績を持つ社会保険労務士、
また多様な働き方に関する制度を導入済みの企業の事例を交えて、
導入にあたってのポイントや、制度活用のポイントについて紹介します。



セミナー概要

開催日時

2026年 3 月 12 日 (木) 14:00~16:00

開催方法

対面・オンライン(Zoom Webinar) のハイブリッド開催
※お申込みいただいた方へ参加方法・参加URLをご案内いたします

開催場所

対面:TKPガーデンシティPREMIUM品川高輪口 ※先着50名
(JR線 品川駅 高輪口 徒歩2分)

対象者

「多様な正社員」等多様な働き方にご関心のある事業主・人事労務担当者等の皆様、
企業等に対して制度導入等を支援されている皆様 等

主催



参加費

無料

申込方法

以下申込フォームURLまたはQRコードからアクセスいただき
必要事項をご入力の上、お申込みください。

<https://tayounaseishain-seido.mhlw.go.jp/2025seminar/>

申込締切

2026年 3月 2日 (月) 16時必着



働き方改革推進支援センターで導入支援を行っています

多様な正社員の専門知識を持った労務管理等の専門家が、窓口相談やコンサルティング等
を実施します。コンサルティングの日時・方法は企業のご都合をお伺いし、調整いたします。
支援のお申込み方法については、お近くの働き方改革推進支援センターへご相談ください。

本セミナーでは、支援実績を持つ専門家/支援を受けた企業が登壇いたします。

プログラム

※プログラムの内容は変更の可能性があります。

開会挨拶

「選ばれる」会社をつくる多様な働き方ガイドブック紹介

事務局より、本セミナーのテーマである「多様な正社員」等多様な働き方の制度の概要や導入ポイント、支援策をまとめたガイドブックをご紹介します。

専門家による「多様な正社員」制度導入におけるポイント紹介

実際に「多様な正社員」制度の導入支援実績を持つ社会保険労務士より、検討から導入までの流れおよび導入支援の流れや例、よくある課題や工夫点をご紹介します。

登壇者紹介 ①



東京都社会保険労務士会
新宿支部所属
社会保険労務士
西方 克巳 様

登壇者紹介 ②



株式会社ルミネ
人財戦略部 マネージャー
森 紀之 様

企業による多様な働き方に関する制度導入事例の紹介

専門家による導入支援を利用した企業より、制度導入を検討した(支援を利用した)背景、現在の検討事項・お取組み、導入した制度などの事例をご紹介します。

有識者・登壇者によるパネルディスカッション

「多様な正社員」等多様な働き方の導入にあたり企業が共通して抱える課題や、制度導入にあたっての検討・進め方のポイントについて、有識者・専門家・先進企業によるディスカッションを通して理解を深めます。



ファシリテーター(有識者)紹介

法政大学経営学部 佐野 嘉秀 教授

博士(社会学/東京大学)。近著に『人的資源管理—事例とデータで学ぶ人事制度』(共著、2025年)、『日本企業の能力開発システム—変化のなかの能力開発と人事・職場・社員』(共編著、2024年)、『英国の人事管理・日本の人事管理—日英百貨店の仕事と雇用システム』(2021年、冲永賞・日本労務学会賞(学術賞)受賞)など。専門分野は産業社会学、人的資源管理論。

閉会

参加方法

お申込みいただいた方へ会場/視聴用URLをご案内します。

アーカイブ配信

セミナー開催後、アーカイブ配信を実施予定です。

申込

お気軽にお申込みください！

申込締切：2026年3月2日(月) 16時

<https://tayounaseishain-seido.mhlw.go.jp/2025seminar/>



セミナーに関するお問い合わせ

令和7年度「多様な正社員」等の多様な働き方実現のための環境整備の推進事業事務局

✉ seminar-tayo2025@ml.mri.co.jp

※事務局業務は株式会社三菱総合研究所が厚生労働省の委託を受けて実施しております。

※申込みの際にご記入いただいた個人情報は事務局にて厳重に管理し、本事業以外での目的では使用いたしません。

2026/01/14時点